

「みんなが安心して歩いて楽しいまちにするためにどうすればよいか考えよう」

指導目標	◎自分たちが登下校したり、この町に住んできたことを振り返り、一市民として「歩くまち」づくりに参画し、自分にできることを考える。
公共交通を教材とする利点	校区の安全を考えることで、学校やPTA、地域や行政が一体となった取組によって登下校を含む通学路の安全が確保されていることを理解し、みんなが安心して歩いて楽しいまちにするためには、自分たちに何ができるのかを考え、また一人ひとりの意識が重要であると認識し、自ら積極的に地域をよりよくしようと考える力を身につける。
対象学年	6年生
対応教科	総合的な学習の時間
標準校時	2コマ
学習構成	<p>1. みんなが安心して歩いて楽しいまちにするためにはどうすればよいか考えよう</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部講師が「まちの交通問題への考え方」について講演し、なぜ京都市は「歩くまち」を進めているかを説明する。 <p>2. 校区内の安全確認と解決策を考える</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> いくつかのグループにわかれ、大人と生徒が一緒になり、町を歩いて困る場所、気をつけてほしい場所、危険な場所はどこかなどを考え、校区の拡大地図に落とし込み、自分たちの地域の安全について話し合う。 話し合ったことを、みんなに伝えるためにまとめる。 <p>3. グループ発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ジグソー方式で、グループの半分が隣のグループと交流し、そこで聞いた意見を自分のグループに持ち帰り、自分たちのグループと似ている点、違った点をもとに、最終の意見をまとめる。

6年生 [総合_みんなが安心して歩いて楽しいまちにするために どうすればよいか考えよう] (京都市立高倉小学校)



【学習指導案】

高倉小学校：「歩くまち・京都」公開実践授業

日時：平成29年12月5日 (13:30～15:00) 90分授業

場所：京都御池中学校アリーナ

対象：京都市立高倉小学校第6学年児童 115名 (12グループ)

協力：中京区役所・交通問題プロジェクトメンバー・PTA

講師：京都大学 山田忠史 先生 ファシリテータ (学校4・PTA4・行政4)

	学習の流れ	指導上の留意点
1	挨拶・学習の趣旨 (校長より) 進行 (6年担任)	6年間、自分たちが登下校したり、この町に住んできたことを振り返り、一市民として、「歩くまち」づくりに参画し、自分にできることを考える学習であることを確認する。
30分	みんなが安心して歩いて楽しい街にするためにどうすればよいか考えよう	
	講師紹介 (校長より) ① 山田先生の講義 (20分)	山田先生は、みんなの登下校の安全も含め、地域の人といっしょに交通問題プロジェクトミーティングで中心となってきていただいていることを紹介する。本日、参加協力していただいている地域の人たちも同様であることも話しておく。
2	② グループワーク ・自転車のマナーや乗り方について気になること ・どうすればよいか ・みんなに伝える方法	<ul style="list-style-type: none"> ・1グループ子ども10人と大人が入る。 ・ファシリテータは大人 (学校・行政・地域・学ポ) ・世代を意識して困りごとや気をつけてほしいことを意見として導く。 ・付箋をつかって、共通することや違いをまとめていく。校区の地図を拡大してマップに落とし込む。 ・話し合ったことを他に伝えていく方向でまとめる。
3	③ グループからの発表 (前半) 隣のグループと交流する 10分 (後半) 自分のグループに戻る 10分	<ul style="list-style-type: none"> ・ジグソー方式で、グループの半分はとなりのグループと交流し、自分のグループと似ている点と、違った意見を聞いて自分のグループに持ち帰る。 ・自グループに持ち帰り、他のグループと同じ意見だったことと違った意見をもとに最終の意見をまとめる。
40分	④ 全体交流 10分 ⑤ 山田先生から講評 5分 ⑥ ふりかえり 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・いくつかのグループを指名して、まとまった意見や気づきについて話し合う。 <p>本日の学習のふりかえりを書く (児童)</p>